

透析患者において薬剤溶出性ステントを用いた経皮的冠動脈形成術後の出血イベントが生命予後に与える影響に関する研究

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2004年9月より2017年12月までに湘南鎌倉総合病院循環器科で薬剤溶出性ステントを用いて経皮的冠動脈形成術を受けた維持透析患者さま

2. 研究目的・方法

すでに得られている診療録の情報を用いて、透析患者さまにおける出血イベントの生命予後に与える影響について明らかにすることを目的とし、出血イベントのリスク評価も行います。

施設院長承認後 ～ 2019年12月

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、病歴、検査値、冠動脈病変に関する詳細、経皮的冠動脈形成術の内容、術後の出血イベントの有無 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

湘南鎌倉総合病院 循環器内科 林 高大
神奈川県鎌倉市岡本 1370-1
0467-46-1717

研究責任者：

湘南鎌倉総合病院 循環器内科 宍戸 晃基

(2019年3月13日作成)